

2024(令和6)年度後期 法華コモンズ講座 10月より開講

開設講座一覧と受講の手引き

《 開設講座 》

● 「仏教哲学再考② — 『大乘起信論』を手掛かりにⅢ—」 全4回 【オンライン講座】

開催日時：水曜日 午後6時30分～8時30分

講師：末木文美士

第1回 10月2日 / 第2回 11月6日 / 第3回 12月4日 / 第4回 1月8日

● 連続講座 「現代の法華菩薩道とは何か」 全4回 【対面&実況】

開講時間：土曜日 午後3時～5時30分

開催日：第1回 10月26日(土)

上行プロジェクト(平和(政治)活動部門)

講師：中野 毅

政教分離下での「立正安国」—創価学会・公明党と立正佼成会・WCRPの挑戦と課題

第2回 11月30日(土)

浄行プロジェクト(環境活動部門)

講師：原井 日鳳

今日、危機の時代に於ける仏教の思想試論—共生論より蘇生論へ—

第3回 12月21日(土)

安立行プロジェクト(福祉活動部門)

講師：弓削多一郎

救ライから総合福祉へ—信仰と福祉の寺・法音寺

第4回 2025年 2月22日(土)

無辺行プロジェクト(学術活動部門)

講師：山上 弘道

不軽菩薩の利益について

● 連続講座 「『法華経』『法華文句』講義」 全6回 【対面&実況】

開催日時：月曜日 午後6時30分～8時30分

講師：菅野 博史

第1回 10月21日 / 第2回 11月25日 / 第3回 12月16日

第4回 1月27日 / 第5回 2月17日 / 第6回 3月31日

※受講申込は、裏表紙(12頁)の「受講申込みについて」よりお願いいたします

法華コモンズ仏教学林事務局

「再歴史化」の知的な拠点を創りましょう！ 理事長 西山 茂

戦前期に生きた田中智学は、日蓮仏教を近代日本に「再歴史化」（蘇生）するために、「祖道復古」と「国体開頭」および「宗門革命」（宗門の維新）の旗を掲げて日蓮主義の運動を主導し、複数の教学講習会を開いて、以後の日蓮仏教諸派の僧俗に多くの影響を与えました。

今回、私たちが11年間も続いた本化ネットワーク研究会を閉じて法華コモンズ仏教学林（門流や会派を超えた法華仏教の学び舎）を起ち上げたのも、法華仏教（日蓮仏教）を現代日本に「再歴史化」するためにほかなりません。

「再歴史化」の意味を深く考えるとすれば、それは普遍的な宗教真理は特殊的な歴史状況のなかに繰り返す「再歴史化」されなければ人々への説得力を失ってしまう、ということでしょう。

現代社会は智学の時代と違ってより複雑化しているだけでなく、教学や遺文の研究レベルも上がり、それだけ私たちが学ばなければならないことが多くなっています。こうしたことは、門流や会派が単独で法器養成等に取り組むことを非常に難しくしているといえます。そして、このような事態も、法華コモンズ仏教学林の誕生を促す要因となっているといえるでしょう。幸い、法華コモンズ仏教学林には、多彩で優れた講師陣が揃っています。

皆さま、この際、どうか法華コモンズ仏教学林の受講生となり、門流や会派の中垣を超えて法華仏教（日蓮仏教）の共通の智を学び、ともに仏国土づくりの聖業に邁進しようではありませんか。



皆様のご参加をお待ちしております！ 学林長 布施 義高

日蓮仏教の「再歴史化」を理念として、斯界に新たな地平を切り開いた、東洋大学名誉教授・西山茂先生主宰の本化ネットワーク研究会。また、日蓮聖人の実像や、壮大なスケールの思想の全体像を浮き彫りにすべく、日蓮門下が一丸となって編集され、平成27年全五巻の刊行完結をみた『シリーズ日蓮』（春秋社）。こうした画期的な成果を受け継ぎ、平成28年4月、西山茂先生を理事長、シリーズ日蓮刊行会会長・佐古弘文先生（同年11月御遷化）を副理事長に仰ぎ、法華コモンズ仏教学林が始動いたしました。

これから本格的に法華経や日蓮聖人を学びたい方の登竜門として、また、各教団が課題とする人材育成、次代の日蓮門下全体の隆盛へ向けての基礎作りの場として、さらには、より高みを目指す研究者の研鑽の場として、多様なニーズを満たせるよう、スタッフ一同、鋭意努力して参ります。

法華コモンズの主役は、これから参加される皆様お一人おひとりです。仏教界全体に、時代を先導し、光明を灯す力が求められている昨今、日蓮仏教（法華仏教）の立場から、世の期待に大いに応えていこうではありませんか。



法華コモンズ仏教学林 スタッフ紹介

【運営スタッフ】

- 理事長 西山 茂
- 学林長 布施義高
- 事務担当 澁澤光紀
竹内敬雅
- 財務担当 竹内敬雅
- 総務担当 西條義昌／谷口智／稲田隆広
- ブログ担当 林 明彦
- X (旧 Twitter) 担当 武川清明
- ビデオ班 竹内敬雅／神蔵寿観／林 明彦

【教学委員】

- 上杉清文
- 花野充道
- 菅野博史
- 寺尾英智
- 三輪是法

【講座担当】

- 末木先生講座 波田地克利／佐古弘純
- 現代の菩薩道① 澁澤光紀／林 明彦
- 現代の菩薩道② 竹内敬雅／山名隆年
- 現代の菩薩道③ 布施義高／武川清明
- 現代の菩薩道④ 西山明仁／布施義高
- 菅野先生講座 松永良樹／澁澤光紀

【 講座会場 】

福聚山 常円寺 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-12-5 寺務所 ☎ 03 (3371) 1797

祖師堂 地階ホール (または日蓮仏教研究所の一階「学室」)

※講義は、【対面&実況】(会場での「対面講義」と「zoom オンライン実況」)、または【オンライン実況】で開講しています。講義の終了後には、「講義ビデオ配信(一か月間有効)」を行っていますので、日程が合わない方や遠方の方も「ビデオ受講」をすることが出来ます。

※諸状況で講義が延期・中止になった場合は、「受講料を返却」しております。

《会場への交通》

- JR線・小田急線・京王線・丸ノ内線を利用の場合
⇒ 新宿駅西口改札より徒歩6分
- 西武新宿線を利用の場合
⇒ 西武新宿駅正面口改札より徒歩6分
- 大江戸線を利用の場合
⇒ 新宿西口駅「D5出口」より徒歩3分
- 丸ノ内線を利用の場合
⇒ 西新宿駅1番出口より徒歩4分



法華コモンズ仏教学林 2024 年度 後期 連続講座 全4回

オンライン講座

仏教哲学再考② —『大乘起信論』を手掛かりに—

講師：末木文美士 先生

【講義概要】

『大乘起信論』は、東アジアの仏教全体に大きな影響を与えている。本講義では、『起信論』自体を読みこむというよりは、『起信論』が東アジアでどのように受け止められ、どのように変容したかを、真如・如来蔵・本覚などの概念の展開を含めて考える。張文良『《大乘起信論》思想史研究』（中国語。中国社会科学出版社、2020）を参考として、張氏が「方法としての《大乘起信論》」と呼ぶ方法により、『起信論』を手掛かりとして東アジア仏教思想を考えてみたい。

※1 学期 4 回の開催で、4 学期 16 回ほど連続講義の予定。テキストは岩波文庫版『大乘起信論』（宇井伯寿・高崎直道訳注）を使うので、受講者は事前に購入のこと。

【講師略歴】

末木文美士（すえき ふみひこ）：1949 年山梨県生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。文学博士。現在、東京大学名誉教授、国際日本文化研究センター名誉教授、未来哲学研究所所長。専攻は仏教学、日本思想。著書に『日本仏教史 思想史としてのアプローチ』（新潮文庫）、『仏教 言葉の思想史』（岩波書店）、『日蓮入門 現世を撃つ思想』（ちくま新書）、『思想としての仏教入門』（トランスビュー）、『『碧巖録』を読む』（岩波現代文庫）、『草木成仏の思想』（サンガ）、『冥顕の哲学 1、2』（ぶねうま舎）、『日本思想史』岩波新書、他多数。

【講義日】全4回 時間（原則・水曜日）：午後6時30分～8時30分（Zoom 配信）

第1回	（第9講）	2024年	10月	2日
第2回	（第10講）	〃	11月	6日
第3回	（第11講）	〃	12月	4日
第4回	（第12講）	2025年	1月	8日

【受講料】 1期4回分 8,000円 ※当日1回の受講料は 3,000円です

※本講座は、オンライン実況講義のみでの開催です。後に動画配信もあります。

法華コモンズ仏教学林 2024 年度 後期 全4回 **対面&実況**

連続講座「現代の法華菩薩道とは何か」

法華コモンズでは、「四菩薩プロジェクト」という構想を立てて、その理想の実現をめざしています（詳しくは、当学林のブログのトップ「法華コモンズのめざすもの」を参照のこと）。本講座は、この構想を広く論議すべく令和2年に開催する予定でしたが、コロナ禍のため延期されてきました。いま、新たな時代状況をふまえて、「現代の法華菩薩道」の実践を期して開催いたします。ぜひご受講ください。

【日 時】全4回 土曜日の午後3時～5時30分（2024年10月～2025年2月の4回）

【会 場】新宿常円寺祖師堂地階ホール 新宿区西新宿 7-12-5 寺務所 ☎ 03（3371）1797

【受講料】1期4回分 8,000 円 ※1回のみ受講料は 3,000 円です

第1回 上行プロジェクト（平和（政治）活動部門）

政教分離下での「立正安国」

講師：中野 毅 先生

—創価学会・公明党と立正佼成会・WCRP の挑戦と課題

【日 時】 2024 年 **10月26日（土）** 午後3時～5時30分

【講義概要】

法華コモンズが実践的に推進する四菩薩プロジェクトのうち、上行プロジェクトの重要なテーマは、われわれが住む国土、社会を現実的に仏土にすることである。それは日蓮が唱えた「立正安国」を現代にいかにかに実現するかである。戦前の田中智学、石原莞爾などの「天皇制日蓮主義」もその例といえるが、それらは敗戦とともに頓挫した。

戦後、象徴天皇制のもとで民主化され、政教分離制度が確立した日本社会で、立正安国を実現しようとする運動は、創価学会の公明党による政治参加と、立正佼成会による「世界宗教者平和会議」（WCRP）に見いだすことができる。日蓮信仰、法華経信仰に基づいたこの2つの運動は、しかし対照的な特徴を示している。前者は政治権力の領域に入り込んで政策として仏国土を実現しようとし、後者は幅広い宗教間対話と宗教協力によるヨコの連帯で実現しようとしていると捉えることもできる。この講義では、両者の歴史、理念、運動の特徴、課題を整理し、また近年の創価学会・SGI の変化と両者の接近にも触れつつ、現代社会における立正安国とは何かを、考えていきたい。

【講師略歴】

中野毅（なかのつよし）：昭和 22（1947）年 茨城県生まれ。東京大学文学部卒業、筑波大学大学院修了。博士（文学）。創価大学文学部にて宗教学・宗教社会学を教え、2018年3月に定年退職。現在、創価大学名誉教授、（公財）国際宗教研究所顧問、日本宗教学会評議員。

主な著書論考：『宗教の復権』東京堂出版、2002年。『戦後日本の宗教と政治』大明堂、2003年。「民

衆宗教としての創価学会」『宗教と社会』第 16 号、2010 年 6 月。「戦後日本社会と創価学会運動」、西山茂編『近現代の法華運動と在家教団』（シリーズ日蓮 4）春秋社、2014 年。「戦後民主主義と創価学会の戒壇建立運動」『本門戒壇論の展開』（本化ネットワーク叢書 3）、2015 年 4 月。「自公連立政権と創価学会」、島藺進編『政治と宗教』岩波新書、2023 年 1 月、第三章。編著『占領改革と宗教—連合国の対アジア政策と複数の戦後世界—』専修大学出版局、2022 年 9 月。監修書『創価学会—現代日本の模倣国家』（レヴィ・マクローリン著、山形浩生訳）講談社選書メチエ、2024 年 7 月。

第2回 浄行プロジェクト（環境活動部門）

講師：原井 日鳳 先生

今日、危機の時代に於ける思想試論 — 共生論より蘇生論へ —

【日 時】 2024 年 11 月 30 日（土） 午後 3 時～5 時 30 分

【講義概要】

今日の気候変動・温暖化による環境悪化・災害、更にはコロナ等感染症の脅威、殊には理性を失った欲望による戦争、そしてそれを抑止できない世界は正に危機の時代にある。

これに対応する宗教と科学は、価値論と認識論で相容れないとされてきた。

しかし「環境」と「命」に対しては、宗教と科学は共通の接点を持たなければならない。

そこに、二元論ではない仏教の思想が求められている。

ただ、仏教各派が汎神論的の仏身論を立て、法身如来の実相を説くのみでは、絶対的価値論（信行）の対立となり、解決はできないだろう。そこで私は、その接点は法華本門の菩薩行であるべきと考えてきた。

そしてそこには菩薩による社会的・実践的報恩行が必要となる、と主張してきた。

本仏による菩薩の使命は、浄仏国土・衆生成仏であるから、「菩薩行」を説く浄土教と法華経の思想の対比を試みた。

浄土教から派生の共生論は、今や広く世に唱えられているが、今日の命と環境の危機には摂受的共生論では間に合わず、命の原点に立ち帰る法華経の蘇生論「心の蘇生」が必要である、と主張したいのである。

「心の蘇生」から今や環境（危機）の蘇生を実証する思想哲学を打ち立てるべき時、と考えるからである。

人類の滅亡を回避するビジョンを「蘇生」とすべき論拠を表明したいと思う。

【講師略歴】

原井日鳳（慈鳳）（はらいにっぽう（じほう））：昭和 19 年静岡県生まれ。昭和 43 年早稲田大学卒業後、東京船舶株式会社勤務をへて、昭和 49 年法華宗興隆学林を卒業。沼津市妙泉寺住職就任。法華宗財務部長を経て宗務総長（第一次・第二次）、法華学園理事長など歴任。平成 19 年に「菩薩行研究所」を設立、同所長。平成 30 年 2 月大本山光長寺貫首、令和元年 11 月法華宗第 138 代管長に就任。

論文著作に、『今日の立正安国論を考える』、『危機の時代に生きる思想と実践』、『日法聖人の足跡をたずねて 1～10』（「無上道」連載）、『武田信玄の死因を探る』（「在野史論」新人物往来社）、『供養と蘇生』（「菩薩行」菩薩行研究所）、その他多数。

第3回 安立行プロジェクト（福祉活動部門）

講師：弓削多一郎 先生

救ライから総合福祉へ—信仰と福祉の寺・法音寺—

【日 時】 2024年 **12月 21日（土）** 午後3時～5時30分

【講義概要】

「信仰と福祉の寺・法音寺」は、宗教と医療と福祉、および感化教育を一体化した「丸ごとの救済」を通して人々を法華経信仰へ導こうとした仏教感化救済会に端を発している。安立行菩薩の自覚を得た初代会長・杉山辰子は、貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、差別を受けたハンセン病患者に寄り添い、親を失った子ども達を養育した。その仏教福祉の理念は法音寺に引き継がれ、日本初の社会福祉教育専門4年制大学・日本福祉大学を開設。また、高齢・障がい・児童の19福祉拠点で事業を展開。講義では法音寺福祉の歩みを考察する。

【講師略歴】

弓削多一郎（ゆげたいちろう）：1960年生まれ。早稲田大学卒業後、東京都内の私立中高一貫校で32年間専任教諭として教職に携わる。現在、日蓮宗大乘山法音寺事務長、学校法人日本福祉大学理事、社会福祉法人昭徳会総務部長を務める。

第4回 無辺行プロジェクト（学術活動部門）

不軽菩薩の利益について

講師：山上弘道 先生

【日 時】 2025年 **2月 22日（土）** 午後3時～5時30分

【講義概要】

「不軽菩薩の利益」とは、法華経『常不軽菩薩品第二十』に説示されている、不軽菩薩の但行礼拝のことである。不軽菩薩はすべての人々に対し「われは深く汝等を敬う。敢えて輕慢せず。所以はいかん。汝等は皆、菩薩の道を行じて、まさに作仏することを得べし」との二十四字を唱え礼拝し、その結果杖木瓦石の難を蒙ったが、その逆縁によって下種結縁し、彼等の未来得脱を期したのである。そこには霸権的思想は微塵も見られない。古今東西の宗教・思想・主義等々の殆んどが霸権主義的である中で、「不軽菩薩の利益」は希有な思想といって良いであろう。

日蓮はその「不軽菩薩の利益」を逆縁毒鼓の折伏行と規定し、それを、『立正安国論』上申の文応元年に著した『唱法華題目抄』から、晩年弘安三年十二月の『諫曉八幡抄』にいたるまで、一貫して自身および門下の弘教の方軌として説示している。

今日の、ウクライナ戦争・イスラエルとハマスの戦闘・ミャンマーの内戦等々の悲惨な状況は、それぞれに複雑な要因があるのだろうが、共通してその根底に、霸権主義があることを認識しなければならない。このような状況下、今世界に求められているのは、霸権主義を徹底して否定する思想ではあるまいか。そういう意味で「不軽菩薩の利益」は、この混迷を打開する大いなるヒントとなるはずである。

講義は上記のことどもを念頭に、日蓮の「不軽菩薩の利益」についての教示を概観し、また付随的に日蓮の「摂受・折伏観」などにも言及したい。

【講師略歴】

山上弘道（やまがみ こうどう）：1952年東京都出身。興風談所所員。

法華コモンズ仏教学林 2024年度後期 連続講座全6回 **対面&実況**

「『法華経』『法華文句』講義」

講師：菅野 博史 先生

【講義概要】

今年度の後期も、『法華経』『法華文句』の講義を継続します。『法華文句』は『法華経』の随文釈義の注釈書ですので、「注釈書読みの經典知らず」にならないためには、『法華文句』を読むときには、常に『法華経』の本文を読まなければなりません。現在、『法華文句』の本文を地道に読む機会はほとんどないと思われるので、この講義では、『法華文句』の本文をすべて読んでいきます。もちろん同時に『法華経』も読んでいきます。受講生のご希望がある限り、地道に続けていきたいと思っています。今期は「信解品」の随文釈義の部分进行学习していきます。

- ★教科書『法華文句』Ⅲ（第三文明社、各冊2,530円）※コモンズ割引価格2,000円（受付にて）
- ★『法華経』はプリントを配布します

【講師略歴】

菅野博史（かの ひろし）：1952年福島県生まれ。1976年東京大学文学部印度哲学印度文学科卒業。1984年東京大学大学院博士課程（印度哲学）単位取得退学。1994年文学博士（東京大学）。現在、創価大学大学院教授、（公財）東洋哲学研究所副所長。専門は、仏教学、中国仏教思想史。

著書に『一念三千とは何か—『摩訶止観』正修止観章—』（第三文明社）、『法華経入門』（岩波書店）、『中国法華思想の研究』（春秋社）、『南北朝・隋代の中国仏教思想研究』『法華経—永遠の菩薩道—』（大蔵出版）、『中国仏教の經典解釈と思想研究』（法藏館）など多数。訳書に、『法華玄義』上・中・下、『法華文句』（Ⅰ）～（Ⅳ）、『摩訶止観』（Ⅰ）・（Ⅱ）（以上、第三文明社）、『現代語訳 法華玄義』上・下（東洋哲学研究所）、『現代語訳 法華玄義釈籤』上・中・下二（松森秀幸と共訳、東洋哲学研究所）など多数。

【講義日】 全6回、時間（原則・最終月曜日）：午後6時30分～8時30分

第1回（第71講） 10月21日

第4回（第74講）

1月27日

第2回(第72講) 11月25日
第3回(第73講) 12月16日

第5回(第75講) 2月17日
第6回(第76講) 3月31日

【会場】 新宿 常円寺 祖師堂 地階ホール

【受講料】 1期6回分 12,000円 ※当日1回の受講料は 3,000円です

「『摩訶止観』講義」

対面&実況

福神研究所主催 講師 菅野 博史 先生 ※『文句』講義と同日の午後3時半より

福神研究所主催 『摩訶止観』講義の再開のご挨拶

菅野 博史

『摩訶止観』の講義を開始したのは、2014年9月22日でした。福神研究所の主催で、新宿常円寺を会場として、毎月一回の講義を行ないました。五年半ほど続け、巻第五下の「若無、無不能生」(T46, 64c19)まで講義したところで、コロナ禍のために、講義を中断せざるを得なくなりました。2022年8月29日から『摩訶止観』講義を再開し、対面・オンライン実況の形式で進めています。毎月一回(原則的に、月末の月曜日)、午後3時半～5時半の2時間の講義といたします。

●テキストについて

○基本テキスト：『摩訶止観』上下二冊(岩波文庫)

○参考図書：菅野 博史 著『一念三千とは何か―『摩訶止観』正修止観章―』第三文明社

※その他、必要な参考資料やレジュメはこちらで用意して配布いたします

●開催日時：『法華経』『法華文句』講義 日と同日の、午後3時30分～5時30分

第1回(第93講)	10月21日	第4回(第96講)	1月27日
第2回(第94講)	11月25日	第5回(第97講)	2月17日
第3回(第95講)	12月16日	第6回(第98講)	3月31日

●会場：新宿 常円寺 祖師堂 地階ホール

●受講料：1回2,000円(対面もオンラインも同額です、受講料の納入は毎回ごととなります)

※「対面は当日払い」予約が不要。／「オンライン」は予約が必要。

●オンライン(Zoom)実況の予約と受講について

①メールでオンライン受講の申込み(氏名・連絡先)をお送りください⇒ koueizan@zenryu-ji.jp

② 折り返し「『摩訶止観』講義の告知」欄の URL をお知らせしますので、Peatix からお申込み・受講料の納入をお願いいたします。お申し込み後は、毎月の開催案内をメールにて送ります。

主催：福神研究所 静岡県富士市今泉 1-1-1 本國寺内 FAX：0545-52-009

年間《賛助会員》加入のお願い

法華コモンズ仏教学林では、本学林の趣旨に賛同して運営の維持に協力して頂ける「年間賛助会員」を募集しています。下記の要領にて受付けておりますので、ぜひご協力のほどお願いいたします。

【年間賛助会員 加入申込み】

個人会員 一年間1口(1万円) / **法人・団体会員** 一年間1口(5万円)

《お申込み年度の特典》

- ① **個人会員で6口以上**の方には、会員のみ使える**年間フリーパス受講証**を差し上げます
- ② **法人・団体会員では2口**で、誰でも使える**年間フリーパス受講証**を差し上げます

※「年間フリーパス受講証」は、**開設の全ての講座を一年間無料受講**することができます。

●お申込み頂ける方は、下記の内容を書いて、FAX またメールにてお申し込み下さい。

- ★ 個人か法人か、また何口かを明記する。
- ★ 名前、年齢、住所、電話、ファックスまたメールアドレスを明記する。

メールアドレス⇒hokkecommons@gmail.com / FAX 番号⇒ 042-627-7227

●直接にご加入・ご支援を頂ける方は、郵便振込用紙にて通信欄に口数をご明記の上、下記の口座にてお振込み下さい。

【口座名】法華コモンズ仏教学林 【口座番号】00150-7-634712

山上弘道 著『日蓮遺文解題集成』について

日蓮はその生涯において著述・書状・要文集・写本等々、実に多くの文献を精力的に執筆し残した。それを門下は「聖教」「御筆」「御書」等と称して大切に保管し、あるいは筆者して後世に残すことに務めた。今日「日蓮遺文」として数多く伝来するゆえんである。ところがその一方で、その膨大な日蓮遺文の中には、日蓮滅後に日蓮に仮託して偽作された、いわゆる偽撰遺文が数多く含まれており、それは日蓮の等身大の思想と行動を知る上で、大きな妨げとなる。本書はそうした状況を踏まえて、第一の目的として、今日伝来する日蓮遺文一編一編に、できうる限り丁寧に考察を加えた上で、真撰・偽撰の分類を目指した。その結果本書で取り上げた五七三編の遺文中、「第Ⅰ類 真撰遺文」が三九八編、「第Ⅱ類 真偽未決遺文」が三〇編、「第Ⅲ類 偽撰遺文」が一四五編という分類結果となった。

(序文より抜粋)

【本書の購入について】

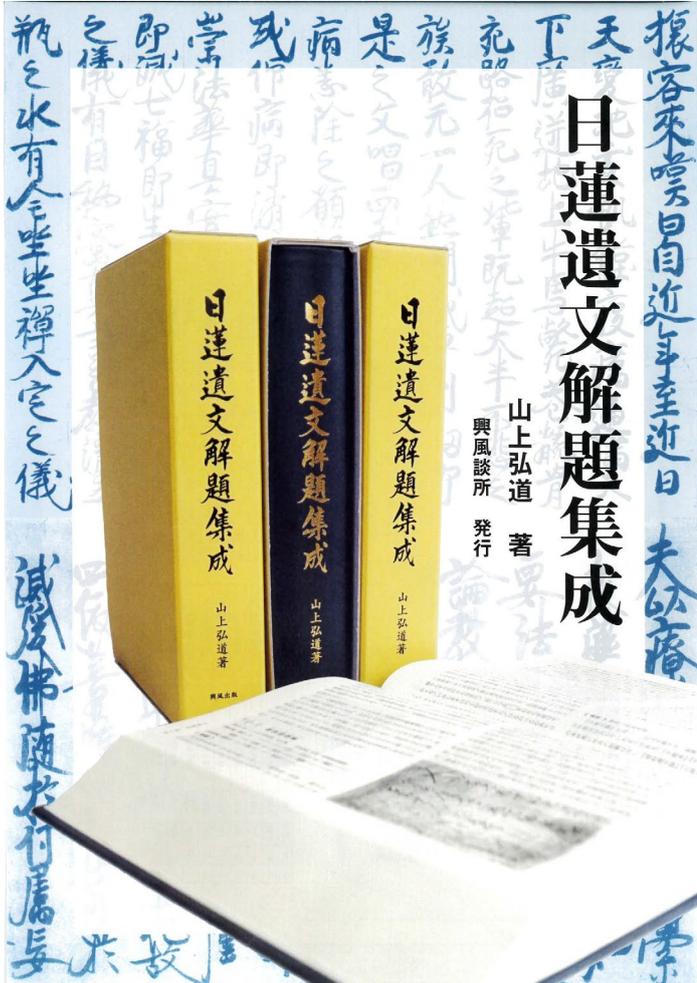
本書は 4/27 と 6/15 開催のコモンズ集中講座のテキストになります。ご購入希望の際は、郵便振込用紙にて代金送付で申込ます。下記の口座番号と名称を明記して、定価+送料 500 円の「13,500 円」をお振込み下さい。

- 口座番号 01230—8—3272
- 加入者名 記念出版委員会

なお、購入についてお問合せは、下記・興風談所にお問い合わせいたします。

興風談所 〒701-1133 岡山市北区富吉 2168 TEL086-728-5539

kofudansho@msc.bidlobe.ne.jp



日蓮遺文解題集成

本書の構成

(一) 第Ⅰ類 真撰遺文
ここでは、真撰完存・断存・會存の遺文はもとより語釈から真撰と判断した三九八編の遺文を系年順に収録し解説する。

(二) 第Ⅱ類 真偽未決遺文
ここでは、疑義はあるが偽撰と断定できぬ遺文三〇編を真偽未決として収録し解説する。

(三) 第Ⅲ類 偽撰遺文

ここでは、「偽撰遺文」二二七編、「偽筆遺文」二編、「口伝・相伝類」一〇編、「門下作成文書・後日蓮遺文化」六編、都合一四五編を偽撰遺文として収録し解説する。

(四) 付録

① 遺文目録

①常修院本野聖教録②新定書目録改異など、二十八品の諸目録を編録・収録する。

② 書状花押集

日蓮書状の花押一六点を系年順に配し掲載。

③ 宗祖書状花押の研究(興風 二九号)参照。

④ 偽撰遺文に類出する用語

「無作三身」本覚「当体進華」「一心三觀」授職灌頂」等の用語十一点を解説する。

著者紹介

山上弘道 一九五二年、東京都出生。富士日興門流僧侶。興風談所所員。

主要な著書・論文

「日蓮の諸宗批判」四箇格言の再歴史化の前提」(本化ネットワーク叢書1・2012年)

「日蓮がとくく」法華経平等と法の思想」(鎌倉新聞社・2004年)

「日蓮大聖人の思想」(一)・(六)」(法華抄選抄)について

「日蓮の諸宗批判」四箇格言の再歴史化の前提」

日蓮遺文解題集成

定価 13,000 円 (税込)

著者 山上弘道

発行 興風談所

令和 5 年 12 月 13 日 第一刷発行

B5 判・上製本・箱・全 1322 頁

購読ご希望の方は同封の郵便振替用紙にてお申し込み願います(郵便振替番号 01230-8-3272)。

送料は一律一冊 500 円で申し受けます。

ご不明な点がございましたら、下記・興風談所までお問い合わせ願います。

興風談所 〒701-1133 岡山市北区富吉 2168

TEL 086 (728) 5539 kofudansho@msc.bidlobe.ne.jp

受講の申込について

受講申込の方は、この頁のコピーまたは別紙(チラシ)申込欄の各項目に御記入頂きまして、下記のファックス番号にご送信ください。申込用紙が届きましたら、「受講手続き書類」をお送りいたしますので、その手続きに従って1期分の「受講料」をお振込下さい。また「コモンズ口座の郵便振込票」をお持ちの場合は、通信欄に希望講座をお書きの上、振込票をお使いください。お振込を確認しましたら、「受講証」・「受講の手引き」そして領収書をお送りします。なお、メールで申込希望の方は、同様の内容をお書きの上、下記のアドレスに送信してお申し込み下さい。なお、受講者が極端に少ない場合は開講を見合わせますので、ご了承下さい。

メールアドレス ⇒ hokkecommons@gmail.com

FAX 番号 ⇒ 042-627-7227 / ブログ ⇒ <https://hokke-commons.jp>

..... 申込欄

《受講希望の講座の□をチェックして下さい(いくつでも結構です)》

「仏教哲学再考②—「大乘起信論」を手掛かりにⅢ—」(4回) 講師：末木文美士

「現代の法華菩薩道とは何か」(通し受講 4回分)

第1回 講師：中野 毅

第3回 講師：弓削多一郎

第2回 講師：原井 日鳳

第4回 講師：山上 弘道

「『法華経』『法華文句』講義」(6回) 講師：菅野 博史

上記、チェックを入れた講座の受講申込みをいたします

○氏名 _____ 男・女 _____ 才

○住所 〒 _____

○電話 _____ Fax (mail) _____

2024(令和6)年 8月1日 発行 **法華コモンズ仏教学林 事務局**

192-0051 八王子市元本郷町 1-1-9 善龍寺内 FAX 042-627-7227